

# 会報



第24号  
令和8年  
4月18日  
発行

会員65名  
(4/1現在)

海老名  
秋田県人会  
046-231-0072



会計 西田 和子

## ゴルフのルーツを知れば プレーも楽し

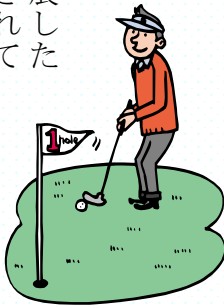
今、世界中の人々を魅了するゴルフというスポーツですが、正確な起源はひとつの決まった説ではなく、複数の興味深い噂話や歴史的記録によって構成されているようです。

最も有力な説の一つは、スコットランド発祥というものです。1457年のスコットランド議会の記録には、「フットボール」とともに「ゴルフ」を禁止する法令が残されています。これは当時ゴルフが人気を博しすぎて、兵士の訓練に支障をきたすほどだったことを示しており、ゴルフというスポーツの存在を示す最古の確実な文献とされます。その後、スコットランド南東部のセント・アンドリュースは世界最古のゴルフコース「オールド・コース」を有する「ゴルフの聖地」となり現在ゴルフのルーツや慣習がここで形成されてきました。



ご主人とパチリ

貴族たちの社交の場として発展した歴史的背景が「紳士のスポーツ」という一面をゴルフに与えたのです。一方でオランダ起源説も根強い支持を得ています。13世紀頃のオランダの文献には、「コルフ」と呼ばれる棒でボールを打って特定の目標に当てるゲームに関する記述が見つかっています。



このオランダのゲームがスコットランドに伝わり、現在の形へと発展した可能性も指摘されています。他にも中国の古い時代の技術を起源とする説などゴルフのルーツは、世界各地に点在しているようです。だからこそ、その起源に思いを馳せながらプレーすることは文化的な深みやロマンを感じさせてくれるから、老若男女を夢中にさせるスポーツなんですね。

日々の生活で溜ったストレスを解消できる、それもゴルフの醍醐味ではないでしょうか。ゴルフ場は、日常から切り離された緑の絨毯であり四季折々の美しい景色を見せてくれます。真夏や真冬のプレーでは、自然の厳しい環境に負けないようにプレーしなくてはなりません。昨今は真夏日より猛暑日の日数が増えてきてい

ます。プレーする時は暑さ対策が必須です。あるゴルフ場では夏の期間は乗用ゴルフカートやフェアウェイに乗り入れて、少しでも体力を温存しながらプレーを楽しんでいただくよう運用しているところもあります。

冬のゴルフ場は夏とは対照的に「静寂の世界」です。朝のティーグラウンドは霜で白く凍っていたフェアウェイと冷たく澄み切った空気がプレイヤーを迎えます。身体が温まるまで自分との戦いになります。

私のゴルフの楽しみ方は、スコアよりもコースを散歩すると変わりつつあります。ナイスショットのかけ声や広大なフェアウェイを歩くだけでも気分は最高です。

18ホールの中でドライブショットが今日イチになったとき、バンカーからうまく出たりするとき、思いがけないアプローチがピンに寄りOKがもたらえたとき、それだけでも満足のゴルフで、またコースに出たい気持ちになります。



だんだん身体能力は落ちてきていますが、無理なく・上手・下手など関係なく最高の仲間と笑って健康でいられるこの趣味に感謝します。

## 秋田県人会の活動

### ①「えびな市民まつり」で 会員募集

11月16日(日)運動公園は良い天候に恵まれ、29の市民団体が会場を盛り上げました。



秋田県人会では会員募集を行いました。3名の方が入会を希望されました。本日の総会にご参加されていらつしやいましたら、皆で声をかけ歓迎いたしました。

### ②「道県人会 ふるさと演芸会」に参加

(1ページ)

3月8日(日)文化会館で「創立15周年記念海老名道県人会ふるさと演芸会」が催され、市内12の道県人会が故郷の民謡や踊りなどをステージで披露しました。

秋田県人会も歌の得意な有志が参加しました。民謡には自信のある齊藤佑輔

さんが「秋田長持唄」を披露、応援出演して

いただいた広瀬忠功さんには昔懐かしい「城ヶ崎ブルー

ス」 「夜霧の第二国道」を熱唱していただき拍手喝采でした。

